

# 平成26年度事務事業評価シート

取組みコード 41531

区分	事務事業	担当課	生涯学習課	作成日	平成26年5月15日
事業名	かわせみ広場事業	開始年度	平成13年度	予算科目	9.4.2.9.1

## 1. 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり
章	第1章 生涯を通じて学ぶ体制づくり
節	第5節 青少年の健全育成
基本施策	3 青少年の健全育成
取組みの基本方向 (1)「放課後児童クラブ」や「かわせみ広場」の適切な運営をはかります。	
根拠法令等	
目的 (誰・何を対象に、何のために)	学校の放課後の時間帯を使って、遊びを通じた地域における異年齢児童間の交流を促進することにより、連続性、協調性、責任感等を養うとともに、児童館や公民館を開放し、安全な育成の場を確保する。
内容・方法 (何を行っているのか)	町内14行政区の児童館、公民館等において、月曜日から金曜日の午後3時から午後5時まで開放し、指導員を配置して児童の安全な育成の場となる「かわせみ広場」を実施している。

## 2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標	指標名		平成21年度	平成28年度			
	『青少年の健全育成』について「満足」と感じる住民の割合		33.5%	39.0%			
(A) 総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果		次代を担う青少年が地域の中で健やかに成長できるよう、多様な体験や活動の機会が得られること					
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H23年度)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1児童館あたりの平均利用人数	増	1児童館あたりの平均利用人数	計画値		1,870.0	1,870.0	1,870.0
			実績値	1,889.1	1,877.2	1,860.9	
			達成度※自動計算		100.4	99.5	0.0
(B) 成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動		安全な育成の場の提供					
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明	項目		平成24年度	平成25年度	平成26年度
開館日数	増	安全な育成の場としてどのくらい会場を提供することができたか、14施設の開館日数の合計を活動指標とする。	計画値		3,000.0	3,000.0	3,000.0
			実績値		3,120.0	3,044.0	
			達成度※自動計算		104.0	101.5	0.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

## 3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度	基準年度(決算)(H23年度)	平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(予算)	
(A) 事業費(円)	13,381,764	14,433,611	13,974,263	14,720,000	
(B) 概算職員数(人)	0.162	0.162	0.162	0.162	
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	1,340,516	1,340,516	1,340,516	1,340,516	
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	14,722,280	15,774,127	15,314,779	16,060,516	
単位当たりコスト ※自動計算	7,793.3	8,403.0	8,229.8		
財源内訳(円)	特定財源				
	国庫支出金				
	県支出金	1,925,000	1,513,000	1,603,000	1,468,000
	地方債				
	その他				
一般財源 ※自動計算	12,797,280	14,261,127	13,711,779	14,592,516	

#### 4. 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
<b>妥当性</b> <small>(公費を投入して実施することが妥当な事業か)</small>	法令等で義務付けられた事業である。		B
	民間サービスで同様の事業は実施されていない。市場原理に委ねることができない。		
	国や県において同種類の事業が実施されていない。	○	
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない。	○	
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている。	○	
	受益に応じた負担は適正である。	○	
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である。		
	町民の日常生活に必要不可欠な事業である。	○	
上記のいずれにも当てはまらない。			
<b>有効性</b> <small>(基準年と比較して成果が上がっているか)</small>	成果指標について平成25年度の目標を達成している	×	C
	基準年度と比較して成果が向上している	×	
<b>効率性</b> <small>(なるべく費用をかけずに成果を上げているか)</small>	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用増、成果ダウン	C
<b>有用性</b> <small>(施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)</small>	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	直接的	A
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
<b>総合評価</b> ※自動判定		改善すべき点がある	

#### 5. 特記事項

有効性及び効率性の判定がCとなっているのは、地理的な理由から実施施設により利用者数の多い施設と少ない施設で差が生じており、1児童館あたりの平均利用者数についても減少しているためである。

#### 6. 自己評価(担当課)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
理由	利用者数の多い施設と少ない施設があり、効率的な運営方法を検討する必要があるため。					
今後の方向性	実施施設数や開館日数などの見直しも勘案し、効率的な事業運営を進める。 また、指導員の資質を維持することや人員の確保も難しくなっていることから、対応を検討する必要がある。					

#### 7. 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性のとおり					

#### 8. 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	/					

#### 9. 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

平成26年度に利用者数の少ない施設の指導員数を減らす一方、利用者数の多い施設の指導員数・勤務日数を増やしており、平成27年度以降も同様に効率的な事業運営を進めていく。また各種団体の会議の席などで当該事業についてPRしながら、指導員確保を図っていく。

#### 10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
理由・改善方針	所管課の方向性のとおり、引き続き利用状況等に合わせて実施施設や開館日数、配置指導員数を随時調整しながら事業を継続するとともに、指導員人材の確保策について引き続き検討していく。					